

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.17 2009年9月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

アエスラ、1080pに対応し、9地点をHD画像で接続可能なハイエンドテレビ会議システムと、SD対応のエントリーモデルも発表、HDからSDまで幅広いニーズに対応

ae コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)は、内蔵 MCU 搭載 HD 対応のテレビ会議システム「aethra Xtreme 300(アエスラ エクストリーム 300)」,また SD 対応のエントリーモデル「aethra Vega X1」を8月27日に発表。販売は、9月28日より開始予定。



aethra Xtreme 300 (ae コミュニケーションズ資料)

aethra Xtreme 300 は、アエスラとして初めて1080pに対応するとともに、現行のXシリーズに加えハイエンド製品として提供していく。見た目の洗練さだけでなく使いやすさも両立させた次世代のHDテレビ会議システムと同社では説明する。

「これまでのラインナップの製品と比べ、性能や機能はもとより本体や操作画面におけるデザインも一新し、より洗練されたスタイリッシュな形にすべく開発した。また色について

も本体からリモコンなどインテリアに馴染みやすいすっきりした白色に統一した。そのデザインにおいては、Xシリーズと同様に今回も世界的に活躍するイタリアのプロダクトデザイナー パオロ・ヴィラ氏によるトータルデザインを採用した。」(ae コミュニケーションズ)

aethra Xtreme 300の通信プロトコルは、H.323、SIPに対応(IPv4、IPv6)し、通信帯域は、標準で6Mbps、オプションで12Mbpsまでサポート。また次期バージョンにおいては、H.320(ISDN)、専用線にも対応する予定。

aethra Xtreme 300は、映像の解像度は、標準で720p30 HD、ソフトウェアオプションで1080p30 フルHDをサポートしている。またHDだけでなく多様なSD解像度にも対応している。

aethra Xtreme 300の主な特長は以下の通り。(1)現行のXシリーズの操作画面のデザインを一新し、メニューがよりわかりやすく配列され、操作性も向上させた黒を基調とした透過性の画面デザインを新たに採用した。これは画面上にシースルーのメニューを表示させ、テレビ会議中であっても、操作性や会議の進行をさまたげないメリットがある。またメニュー操作が終わると、自動でフェードアウトする仕組みになっている。

操作画面では、日本語を含め19の言語に対応している。



リモコン(左写真、ae コミュニケーションズ資料)についても、デザインを一新。Xシリーズのリモコンと比べ、フラット薄型で若干小振り

にし、軽量化した。また必要な操作メニューボタンを整理し、指操作がしやすいように配列も見直した。



POD マイク - 2 台までカスケード接続可能 (ae コミュニケーションズ資料)

(2)フルバンド音声符号化方式 G.719(20kHz@64kbps)の採用。G.719は、ITU-Tで2008年6月に標準化された最新の符号化方式。

(3)内蔵MCUは、オプションで9拠点までをHD画質で接続する。多地点会議への音声通話接続にも対応している。「Xシリーズ(Vega X7, Vega X5)でも、9拠点まで対応しているが、今回の製品で、HD画質でありながら9拠点までサポートした多地点機能が可能だ。」(ae コミュニケーションズ)

さらに、画面表示は、音声による切り替え以外にも、多画面分割(Continuous Presence, CP)に標準で対応する。等分割で表示したり、発表者を大きく表示しながら他の参加者は小さく表示したりと、テレビ会議の仕方に応じて多様なレイアウトに対応している。



多画面分割レイアウトによる多地点接続 (HD、SD 混在、HDは16:9表示、SDは4:3表示でわかる)



透過性メニューを画面右端に表示した状態。また画面上下には常時表示されたメニューバーが見える。この状態からメニュー操作が行われなくなると右端のメニューが自動で画面からフェードアウトする

加えて、デュアルビデオ(H.239)では、720p30のデータ共有も可能だ。CNAレポート・ジャパン橋本が拝見したデモでは、Youtubeの映像を対向で接続しているXtremeからH.239で送信してもらった。画面に表示された統計情報を見ると、30フレーム/秒はでている。「パワーポイントなどの静止した画像だけでなく、マウスの操作も軌跡が残らずスムーズに動く。そして、動画もストレスなく共有できるのがXtremeの特長だ。」(ae コミュニケーションズ)

aethra Xtreme 300のメーカー希望小売価格は、1,247,000円(税別、以下同)。1080pアップグレードは、421,000円。12Mbpsアップグレードは、130,000円。9地点までサポートした多地点接続機能オプションは、538,000円(多画面分割機能も付属する)。

現在提供しているVega X7も720pに対応している。「Vega X7はXtreme 300と比べ主要な接続インターフェイスをより多く備えているため、システムインテグレーション用に、一方、Xtreme 300は、会議室での一般的な用途に最適と考えている。」(ae コミュニケーションズ)

aethra Vega X1

ae コミュニケーションズは、Xtreme 300と同日、エンターモデルのaethra Vega X1を発表した。発売は、9月28日からの予定。

H.323に対応し、最大帯域は、2Mbpsまで対応。ISDNは、オプションで、56kbpsから128kbps接続まで対応。



aethra Vega X1 (ae コミュニケーションズ資料)

「Vega X1 は、現行機種 of Vega Pro S の後継にあたる機種になるが、Vega X1 では、帯域が 768kbps から 2Mbps までサポートされたなど性能や機能を強化した。しかし、テレビ会議として必要な基本機能を追求しながら、リーズナブルな価格を実現している。ポイントツーポイント接続や多地点接続の子機として最適なシステムとして提案したいと考えている。」(ae コミュニケーションズ)

Vega X1 のメーカー小売希望価格は、475,000 円(税抜)。

同社では、今年の 7 月に、「Vega X3」の新モデルも発表している。最大 4 地点の内蔵 MCU、新しい GUI、新カメラ、マイクカスケードなどが新しいモデルの特長。価格は、693,000 円(税抜)。7 月 17 日発売。

今回、HD と SD の端末を同時に発表したが、アエスラとしては、HD から SD まで幅広くニーズに対応した製品ラインナップを揃えることで、今後も市場でのテレビ会議需要に応えていきたいと考えている。

ae コミュニケーションズは、平成 18 年 5 月 23 日に設立したイタリア アエスラ社(aethra SpA.)のテレビ会議システム製品の専門販売会社。日本国内での実績は、約 400 社、2000 台以上販売した。

ラドビジョンジャパン、1080p フル HD に対応した SCOPIA MCU のハイエンドモデル 3 機種と、サムスン電子と共同開発した HD ビデオ会議専用端末を日本市場向けに販売開始

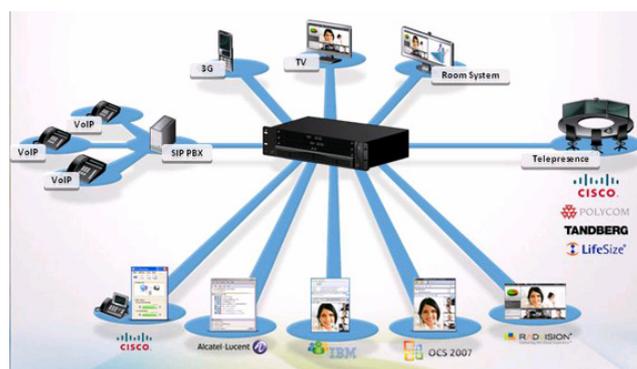
ラドビジョン社の日本法人 RADVISION Japan 株式会社(東京都台東区)は、フル HD に対応した多地点接続装置(MCU)「SCOPIA Elite(スコーピア・エリート)」の 3 モデルと、

サムスン電子と共同開発したビデオ会議専用端末「VC240」の日本市場向け販売を開始する。

両製品は、6 月に米 Infocomm Orlando 2009 展示会で同時発表されていた製品。この発表は、日本市場向けの発表となる。

同社では、既に「SCOPIA Classic」シリーズの MCU を販売してきたが、今回発表された SCOPIA Elite は、SCOPIA MCU の中ではハイエンドモデルになる。「SCOPIA Elite 5230(3U タイプ、ATCA シャーシ)」、「SCOPIA Elite 5115(1U タイプ)」、「SCOPIA Elite 5110(1U タイプ)」を提供する。

SCOPIA Elite の主な特長は以下の通り。(1)1080p のフル HD に対応した。(2)シスコシステムズ社製テレプレゼンシステムに対応。今後他社システムへの拡張も予定されている。



SCOPIA Elite (ラドビジョンジャパン資料)

(3)H.264/SVC に対応。通常のインターネット接続において 20%のペケットロスが発生しても画像を補完できる。また H.264/SVC 未対応の端末との接続も可能。(4)キャパシティ拡張オプションによって、SD 標準画質であれば最大 120 ポートまでの接続が可能。SD でも 360p/4CIF をサポートする。(5)大規模な展開時には、無料でバンドル提供される運用管理ソフト「iView Suite(アイビュースイート)」により複数の MCU を自動的に連動(カスケード、分散型多地点接続機能)することにより 1,000 ポートまで運転の自動化を可能にすることができる。(6)ユーザ毎に画面のレイアウト変更が可能なレクチャーモードが標準搭載。

(7)PC間においては、MCUを経由することなくピアツーピアでの接続が可能。

一方、VC240は、HD対応の24インチワイド液晶画面、カメラ、マイク、スピーカー等を搭載したオールインワン型ビデオ会議専用端末。SCOPIA Eliteと組み合わせることで、HDビデオ会議システムの幅広い普及を目指したい考え。

SCOPIA EliteとVC240は、代理店各社から販売開始。今後3年間で70億円の売上を予想している。

*Infocommレポート: Vol.11 No.15 2009年8月15日号 4p-13p

*IVC240関連: Vol.11 No.16 2009年8月31日号 3p-4p

エイネットとプロリンク、新型インフルエンザ対策に活用できる USB メモリー型 Web 会議「挿したらオフィス」を発売

エイネット株式会社(東京都千代田区)は、株式会社プロリンク(東京都千代田区)と共同開発した USB メモリー型 Web 会議「挿したらオフィス」を9月7日より販売開始した。

挿したらオフィスは、プロリンクが販売するパスワード機能あるいは指紋認証機能をもった USB デバイスにエイネットの Web 会議システム「FreshVoice」を搭載した製品。パソコンへのインストールが不要で、インターネットにつながっているパソコンの USB ポートに挿すだけで Web 会議を行うことができるというもの。ソフトウェア VPN にも対応。

販売価格は、9,800 円(税別)/本からで、利用開始から1ヶ月間使えるライセンスがついている。新型インフルエンザが大発生したり、地震等の災害時に外出が困難に陥った時だけ利用できるライセンス形態。このため毎月の月額費用がかかる ASP サービスと比べ費用を低コストにおさえることができた。

販売価格は、「USB デバイス+Web 会議ライセンス」で、9,800 円(パスワード認証 USB)、あるいは22,500 円(指紋認証 USB)。また、「USB デバイス+Web 会議ライセンス+Web カメラ・ヘッドセット」は、16,100 円(パスワード認証 USB)、あるいは28,800 円(指紋認証 USB)。5本セット販売。使用期間は、1ヶ月。有効期限は、2年間。

エイネットの FreshVoice は、2003 年の発売以来、国立大学附属病院院長会議・東洋大学大学院など、病院、学校、大企業、中堅企業を中心に1,800社(2009年8月末時点)の導入実績がある。

プロリンクは、指紋認証 USB デバイス、パスワード認証 USB デバイスを利用したセキュリティ製品を開発、販売している。

パナソニックコミュニケーションズ、ネットワークカメラとの連動やアプリケーション共有などを実現する、IP 音声会議ホン向け PC アプリケーションソフトを発売



IP 音声会議ホン KX-NT700N

2008年4月
パナソニック コミュニケーションズ(株)

KX-NT700N (パナソニック コミュニケーションズ資料)

パナソニック コミュニケーションズ株式会社(福岡市博多区)は、同社が販売する IP 音声会議ホン「KX-NT700N」専用のアプリケーションソフトである IP 会議フォンマネージャー「KX-NCS7101N」を9月17日から発売する。KX-NT700N は、2008年4月に発売した製品。

IP 会議フォンマネージャーは、ネットワークカメラとの連動、アプリケーション共有、会議ホンの操作、電話帳・通信履歴の閲覧をパソコンの画面上で操作できるなどの機能を提供する。

同社製のネットワークカメラと IP 会議ホンを連動させることで、音声と映像による会議が簡単に行える。連動する

と会議ホン同士の通話がつながると同時に IP 会議フォンマネージャーの「ビデオ会議画面」が起動し、それぞれのネットワークカメラ映像が表示される。カメラ操作もこの画面上で行える。

またマイクロソフトの Excel や PowerPoint などのアプリケーションソフトをお互いのパソコンの画面上で共有したり、「ホワイトボード」機能を使うことで、双方向にテキストや図形などを書き込んだりすることもできる。

その他、IP 会議フォンマネージャーをインストールしたパソコンと IP 会議ホンとの連携によって、会議ホンを登録した電話帳、マイクロソフトの Outlook に登録した電話帳もまとめて利用でき、会議ホン本体の操作パネルでの操作がパソコン画面上で簡単に行える。

KX-NT700N の希望小売価格は、158,000 円(税別)。また今回発売された KX-NCS710N は、29,710 円(税込)。対応 PC OS は、Windows XP(全エディション)。

パナソニック コミュニケーションズでは、出張経費の削減や業務効率化の向上を可能とする製品として提案していく考えだ。

* KX-NT700N 関連: Vol.10 No.8 2008 年 4 月 30 日号 1p-2p

CSI ソリューションズ、同社の導入・運用サービスと、ジャパンメディアシステムズの ASP 版 Web 会議システムとを組み合わせたマネージドサービスを開始

株式会社 CSI ソリューションズ(東京都新宿区)とジャパンメディアシステム株式会社(東京都千代田区)は、販売代理店契約を締結したと発表。(7 月 30 日)

CSI ソリューションズは、ジャパンメディアシステムズが提供する ASP 版 Web 会議システム「LiveOn(ライブオン)」を、CSI ソリューションズによる導入・運用サポートを含めた「Managed LO Service(マネージド LO サービス)」として 8 月 1 日より提供開始。

ASP 版(20 ライセンスまで取得可能)の初期費用は、78,000 円(税抜)/ライセンス。月額費用は、3,000 円/ライセ

ンス。21~1,000 ライセンスが必要な場合は、ユーザの社内ネットワーク内に LiveOn サーバーを構築することで導入が可能。その際の費用は別途設定されている。

CSI ソリューションズは、今年度 100 社へ提供することを目指す。

CSI ソリューションズは、1989 年に株式会社 CSK(現:株式会社 CSK ホールディングス)と日本 IBM 株式会社の合弁企業として設立。IBM 製品をはじめとするシステム販売、システムインフラ基盤の構築、仮想化、また ERP を中心としたアプリケーション開発と運用など幅広いソリューションを提供している。

プレミア コンファレンシング、事前準備、当日の受付、司会進行までオペレータがフルサポートする電話会議サービスを発表、資料共有や録音、フォローアップなどもオプションで提供

プレミア コンファレンシング株式会社(東京都中央区)は、会議の開催準備から、当日の会議の受付、司会進行、会議後のフォローアップまで対応可能なフルサポートを行う電話会議サービス「PremiereCall Event(プレミアコール・イベント)」を 8 月 19 日発表、サービスの提供を開始した。

同社のプレスリリースによるとこのサービスは、参加者のスクリーニング(受付時の参加者確認)も可能なため、社内トレーニング、セミナー、新製品説明会、決算発表、記者発表など機密性の高い会議やイベントを、実施する場合に最適であると同社のプレスリリースによると説明している。

また、事前の綿密な打合せにより、当日はオペレータが司会進行をするため、主催者は会議内容に集中することができるとともに、会場設営、参加者の移動、資料配付などのコストも削減でき、これまで物理的に参加できなかった遠隔地からの参加が容易になるといったメリットがあるという。

PremiereCall Event サービスを利用するにあたって特別な初期投資はいらない。電話機があればいつでもすぐに

利用することができる。10名から1000名規模のイベントに対応可能。加えて、「VisionCast(ビジョンキャスト)」を組み合わせると電話会議に、資料共有の機能を追加することができる。資料の説明やプレゼンテーション発表に活用ができる。

PremiereCall Event は、開催準備、当日の受付、司会進行から構成される。(1)開催準備では、主催者とイベント・マネージャが、電話受付時の確認事項、当日の進行、質疑応答について事前の打ち合わせを行う。(2)受付。参加者からの電話に専任の受付オペレータが対応し、電話会議のコンファメーション・コード、名前、会社名などをスクリーニングし、参加者を確認する。この点について、一方で PremiereCall Auditorium は、パスワード(+PINコード)を参加者が電話に入力するが受付の仕方に違いがある。(3)司会進行。開会、閉会のアナウンス、発表者の紹介、質疑応答サポート、投票・アンケートなどを行う。

また、オプションサービスは以下の通り。(1)開催の案内状や招待状をEメールで一斉配信。(2)Web会議サービス「VisionCast(ビジョンキャスト)」を使った資料配付とプレゼンテーション画面共有。(3)実参加者リスト、議事録の作成。お礼状の一斉配信。(4)会議の録画と再生ができる。終了後のCDへの記録も可能。(5)国内、国際フリーダイヤルが利用可能。(6)参加者リストの提供、アンケートの実施・集計、議事内容の書き起こし、通訳手配など。

PremiereCall Event の利用料金例としては、50人で60分(固定電話、形態電話含む)の会議で、約14万円から。100人で60分(20人の国内フリーダイヤル、20人の国際フリーダイヤル、60人の固定電話)で約40万円から。

プレミア コンファレンシングでは、ノンオペレータ電話会議サービス「ReadyConference」、オペレータアシスト電話会議サービス「PremiereCall Auditorium」、Web会議サービス「ReadyCast」、「VisionCast」、IRイベント支援ソリューション「IR-Meet」を提供。

プレミア コンファレンシング、予約不要のノンオペレータ電話会議サービスの定額プラン、従来プランに比べ50%から70%の割引になる

プレミア コンファレンシング株式会社(東京都中央区)は、予約不要のノンオペレータ電話会議サービス「ReadyConference(レディ・コンファレンス)」の定額プランを発表した。(6月16日)提供開始は、6月1日から。

定額プランを利用すると従来の従量プランに比べ50%から70%の割引になる。

1年契約の場合の主な定額プランと料金は、以下の通り。

500分プラン	7,500円/月
3,000分プラン	39,000円/月
10,000分プラン	118,000円/月
50,000分プラン	430,000円/月

プラン数は、1ヶ月に利用できる利用分数の上限。また定額プランは、年契約(1年もしくは2年)になる。上記表のプランは、1年契約で、2年契約ではさらに割安な価格設定がされているという。

ReadyConferenceの特長は、以下の通り。(1)パスワードがあれば予約なしで24時間365日いつでも会議が行える。(2)現在利用中の電話機でサービスが利用できるため新たな設備投資が不要。(3)日本語と英語での対応。(4)国内・海外(34カ国)のフリーダイヤル番号。(5)主催者専用機能。出席者確認、会議のロック(会議参加を拒否)/解除、参加者ミュート、セキュリティコード設定/解除などの他会議を円滑にすすめるための機能を提供している。(6)必要に応じて複数のパスワードを発行可能なため、用途に応じてパスワードを使い分けすることができる。(7)Music-On-Hold設定。主催者が主催者用パスワードとクライアントIDを入力後に会議開催可能になるまで、参加者同士では会話ができないが、その間音楽が流れる。(8)ポスト・コンファレンシング・Eメール(Post Conferencing E-mail)の送信。会議終了後、登録されたEメールアドレスに、利用確認が出来るサマリーレポートを送付する。

同社では、経費削減、在宅勤務支援、パンデミック対策など世界的な電話会議ニーズの高まりに応えるため、今回価格を低く設定し、電話会議サービスのさらなる利用拡大を目指す考えだ。

セミナー・展示会情報

<国内>

導入企業が語る！WebEx 活用事例：東洋ビジネスエンジニアリング-- WebEx で実現した IT 導入支援とサポートの最先端 --

日時：9月29日 14:00-15:00

会場：Web セミナー

主催：シスコシステムズ合同会社

Cisco WebEx テクノロジグループ

詳細・申込：

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_092909.html?SourceId=m1

**アエスラ社 新製品 体感セミナー
HD 対応 業界最多の内蔵 MCU9 拠点 Xtreme300 デビュー！**

日時：10月2日(金)/10月9日(金) ※完全予約定員制

①13:30～(受付:13:15～)

②16:00～(受付:15:45～)

会場：ae コミュニケーションズ、VTV ジャパン(東京、大阪)

主催：ae コミュニケーションズ株式会社、VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.aethra.co.jp/seminar/200910/index.html>

**「Microsoft + OKIがPCで実現するHDビデオ会議」
セミナー**

日時：10月8日(木) 14:00～16:30(受付:13:30～)

10月9日(金) 14:00～16:30(受付:13:30～)

会場：秋葉原UDX 6F UDXカンファレンス D会議室

主催：マイクロソフト株式会社、沖電気工業株式会社

詳細・申込：

<http://www.oki.com/jp/visualnexus/seminar/index.html>

* 申込はキーマンズネットで受付。キーマンズネットの会員でない場合は最初に会員登録を行う必要がある。

**『出張費削減！ConforMeeting 無料体験セミナー』
定期開催**

日時：10月7日(水) 14:00-15:00、16:00-17:00

10月14日(水) 14:00-15:00、16:00-17:00

10月21日(水) 14:00-15:00、16:00-17:00

10月28日(水) 14:00-15:00、16:00-17:00

会場：NEC 情報システムズ 本社 20階会議室

(東京都港区芝3-8-2芝公園ファーストビル)

主催：株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

自宅待機・出張制限を乗り切れ！「パンデミック対策ソリューション セミナー」～自宅待機でも出張できなくても、いつものように仕事ができます～

日時：10月8日(木) 15:30-17:25(受付開始 15:00)

会場：パナソニック電工インフォメーションシステムズ

八重洲オフィスセミナールーム

主催：パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催：日本タンバーク株式会社

協賛：日商エレクトロニクス株式会社、シトリックス・システムズ・

ジャパン株式会社

詳細・申込：

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/69>

**CEATEC JAPAN 2009 コンファレンス
通信ネットワークセッション (NT)**

NT-10 映像コミュニケーションによる知識創造

日時：10月8日(木) 12:30～13:30

会場：幕張メッセ 国際会議場 3F 302 会議室

講演者：情報通信ネットワーク産業協会

次世代映像コミュニケーション有望用途 WG

オブザーバ/日本大学 教授 児玉 充 氏

詳細・申込：<http://www.ceatec.com/2009/ja/visitor/1008.html>

CEATEC JAPAN 2009 <http://www.ceatec.com/>

情報通信ネットワーク産業協会：<http://www.ciaj.or.jp/top.html>

IT pro Expo 2009

日時：10月28日(水)～10月30日(金) 10:00～17:30

会場：東京ビッグサイト 東 4-5 展示ホール

主催：日経 BP 社

詳細・申込：<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/index.html>

* 会議システム系の出展企業あり。またテーマセッション ビジュアル・コミュニケーションでは、ポリコムジャパン(提供:プリンストンテクノロジー)、タンバーク(提供:メディアプラス)が講演。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

8月15日号の Infocomm レポートでもご紹介しました Infocomm 会場で話題になったジョージWブッシュ氏のそっくりさんのビデオクリップが Youtube で観られます。遠隔地から会場の来場者と楽しいジョークを交えた対話をしていました。目の前を通り過ぎようとする人に声をかけていました。「Bush04」で検索できます。

今後とも宜しくお願い致します。(橋本啓介)